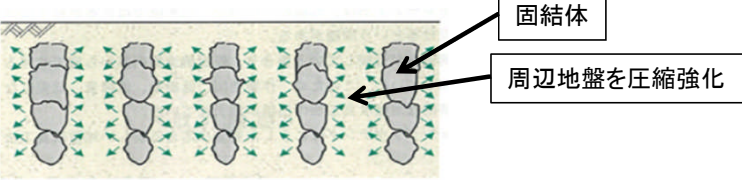
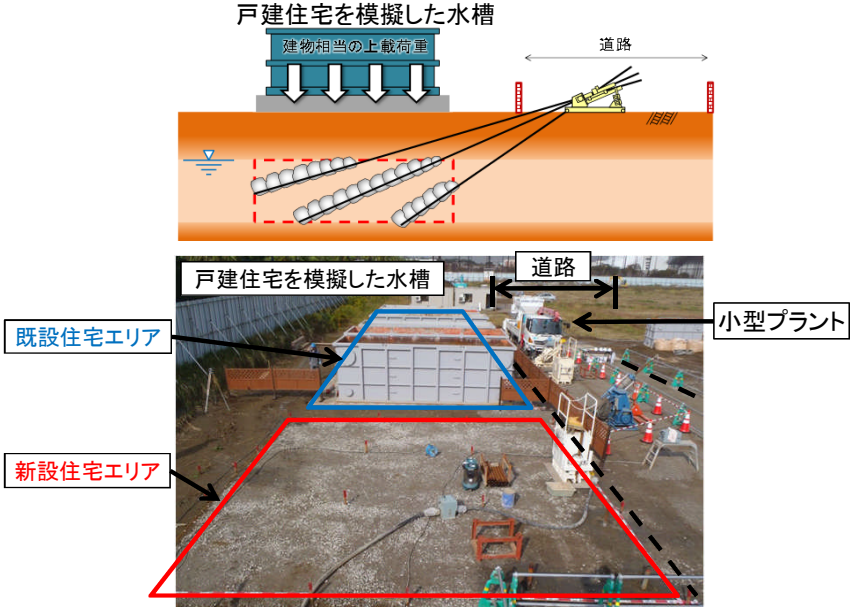


浦安市が管理する施設を利用した液状化対策工法の実証実験

実験概要	
工法の名称	戸建住宅の液状化対策としての適用性を確認するための コンパクショングラウチング工法(CPG工法)
実施事業者名	三信建設工業(株)・みらい建設工業(株)・東興ジオテック(株)
工法の概要	<p>CPG工法は、流動性の低い注入材を地盤内に圧入し、固結体を連続的に造成することにより、周辺地盤を締固める工法です。 工法としては密度増大工法に分類され、既設構造物に対する液状化対策工法として、数多くの実績があります。</p>  <p>固結体 周辺地盤を圧縮強化</p>
実験の概要	<p>戸建住宅の液状化対策としての適用性を確認するため、住宅地を模擬した施工条件で実証実験を行いました。確認項目としては、以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 戸建住宅用に開発した小型施工機械の適用性</li> <li>2. 様々な施工条件(新設/既設、個別/地域一体など)における適用性</li> <li>3. 浦安地区の地盤への液状化対策効果</li> <li>4. 建物や周囲への影響</li> </ol>
実験の成果	<p>戸建住宅の液状化対策工法として、従来のCPG工法よりも安価に対策を行うことができるようになりました。具体的な成果としては、以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 従来使用している機械と開発した機械を組み合わせることにより、様々な施工条件下で適用できることを確認しました。</li> <li>2. 浦安地区の地盤に対して、液状化対策の効果があることを確認しました。</li> <li>3. 施工対象の建物や隣接家屋、地下埋設物といった周辺構造物へ、悪影響を与えることなく施工できることを確認しました。</li> </ol>  <p>戸建住宅を模擬した水槽 建物相当の上載荷重 道路 既設住宅エリア 新設住宅エリア 道路 小型プラント</p> <p>&lt;論文発表&gt; 1)河野聡平, 足立雅樹, 岡見強, 新坂孝志:静的圧入締固め工法(CPG工法)による戸建住宅地の液状化対策実証実験(その1)-戸建住宅対応の機械開発-, 第48回地盤工学研究発表会, 2013(投稿中). 2)足立雅樹, 岡見強, 吉見力, 河野聡平:静的圧入締固め工法(CPG工法)による戸建住宅地の液状化対策実証実験(その2)-実験概要と施工状況-, 第48回地盤工学研究発表会, 2013(投稿中). 3)岡見強, 新坂孝志, 河野聡平, 関谷千尋:静的圧入締固め工法(CPG工法)による戸建住宅地の液状化対策実証実験(その3)-改良効果と周辺への影響-, 第48回地盤工学研究発表会, 2013(投稿中).</p>
今後の方向性	戸建住宅への適用性をさらに高めていくとともに、CPG工法による戸建住宅の液状化対策を提案していきます。

上記に関する問い合わせ先

三信建設工業(株)技術本部 新坂(しんさか)・河野(こうの)

TEL:03-5825-3707

FAX:03-5825-3757